



THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA-RYOHOKU

広島陵北ロータリークラブ

- The Weekly Report -

～ クラブのテーマ ～

こころゆたかなロータリアン

～ 本年度会長方針 ～

奉仕の心で未来を築こう



2009-2010年度
R.I.会長よりのメッセージ

第935回例会 2010年6月16日 No.907号

■ 会長時間



会長 井林 孝二

皆様ご存知のことと思いますが、今月9日に名誉会員の二宮義人先生がお亡くなりになりました。二宮会員が2002年7月より名誉会員になられてからの新入会員の皆様は、我々チャーターメンバー等と二宮先生とのつながり、二宮先生の業績等、御存知ないかと思われまので、二宮先生との思い出を少しお話しします。二宮名誉会員とは、19年前にチャーターメンバーとして広島陵北ロータリークラブに入会した時からのおつきあいです。同じチャーターメンバーと言っても、二宮先生はクラブの

メンバーを集める段階からのメンバー、キーマン(6名おられました)の中心としてクラブ創設に尽力されました。親クラブの広島陵北ロータリークラブの方々があれば注文をつけられるので、一時はもうやめたと言うような気持ちになられた事もあったと聞いております。公けには、広陵高等学校の理事長をしておられ、広陵高校の再建にも尽力されました。又、山階鳥類研究所、新老人の会等のお世話もされ、日本のトップクラスの方々との交流も含め、広島陵北ロータリークラブの発展に尽力されました。初代会長の時、二宮先生がかかげられたクラブテーマ「心ゆたかなロータリアン」は、代々会長の標語に先立ち、クラブメンバー全員の心の支えとして今でも受け継がれているものと思われま。人情味厚く、誰に対しても誠心誠意、公平無私であった二宮名誉会員。誰もがその風格を親しみ、その徳を慕っておりました。まだまだ色々なことで教示いただきたい事が沢山ありましたのに残念でなりません。今は、二宮名誉会員のご冥福をお祈りするばかりです。

どうぞ安らかに眠りください。

今回の例会(6月23日)

最終夜間例会

次回の例会(7月7日)

会員卓話 正副会長幹事挨拶

出席報告

(山田例会運営委員)

6月16日(水)出席者

会員総数	41名
出席会員	35名
欠席会員	6名
ご来賓	0名
ご来客	2名
ゲスト	0名

来客者紹介

(高野親睦家族委員)

6月16日(水)出席者

広島RC	2名
------	----

幹事報告(武田副幹事)

■お知らせ

- ・次週6月23日(水)は最終夜間例会となっておりますので、お間違えのないようご注意ください。



SMILE BOX

愛谷俊治 会員

二宮広陵学園園長の御通夜・告別式には2日間にわたり、クラブの皆様には大変御世話になり有り難うございました。心より御礼申し上げます。

堀江正憲 会員

平成22年度の今年、ロータリーに入会し20年を迎えます。パスト会長 愛谷俊治様をはじめ、皆様には大変お世話になってます。

5月24日 広島市役所2階講堂で講演を致しました。対象は広島市の幼稚園小中高校の園長・校長先生のリーダー研修会で251名の参加でした。

6月17日(木)RCCテレビ イブニングフォー(PM16:15頃～)に出演。「エンテロウイルス71型」について

6月22日(火)TSSテレビ(PM18:20頃～)に出演。「ヒブ髄膜炎」について

平成22年度は、県医師会ともがん撲滅に向け、肺癌・胃癌・肝癌・大腸癌・子宮癌などの癌への新しい取り組みが後半に発表されると思います。推進・検討しています。

時々、早退して申し訳ございません。ニコニコに出席します。

S. A. A. 一同(割方・大内・福田・下田)

目標額80万円を達成いたしました。一年間お世話様になりました。ありがとうございました。

当日計	25,000円	累計	827,000円
-----	---------	----	----------

【例会】 毎週水曜日(12:30～13:30) / リーガロイヤルホテル広島(広島市中区基町6-78) / 082-502-1121

【会長】井林 孝二 【事務所】広島市中区基町6-78 リーガロイヤルホテル広島13F 【TEL】082-221-4894

【幹事】川中 敬三 【ホームページ】http://www.ryohoku-rc.jp/ 【FAX】082-221-4870

正副会長幹事退任挨拶(1/2)



■ 会長 井林 孝二

会員の皆様、一年間会務の運営に御協力ありがとうございました。又、理事役員の皆様には、一年半にわたる長期間の御協力ありがとうございました。

会長期間を終るにあたって、心残りなのは、会員数の2名純減です。沖田会員、伊藤会員の入会は大変うれしく思っております。

ただ、会社の業績の事もありますが、チャーターメンバーの演崎一博会員が退会されたことは大変残念に思っております。同じくチャーターメンバーの吉田敏典さんもおやめになりました。子供さんに仕事を引き継ぐのに、社長の自分はロータリークラブを弟の専務さんはライオンズクラブをやめて、いらない経費をカットのためだとおっしゃいました。あと、藤居道正さん、蔵田泰明さんも健康上、仕事の都合上でおやめになりました。おやめになる理由も多々ありました。皆さんの話をうかがっているうちに、私がロータリークラブをやめる時は、アメリカに移住するからとか、旅行に忙しくて例会に出られないとか言いそうですが、これでは無理ですかね。又、会長、副会長経験者の方が退会される例も多く、その点でのクラブの運営がまづいのか本年度では充分に検討できておりませんので、次年度の小川会長よろしくお祈りいたします。

実はこの原稿を作成中に二宮初代会長がお亡くなりになりました。名誉会員ではありますが、チャーターメンバーでキーマン、ましてや、クラブ創立には、並々ならぬ尽力をなされた事を思えば、とても残念です。ずっと前から二宮先生の弔辞は読みたくないと思っておりましたが、そう思うと逆にお前が読めと言われたような気がします。二宮先生のお通夜、葬儀が終ってしまえば、たまたま私が会長の年に先生がお亡くなりになり、弔辞を読んだと言う事だと思います。広島教育界、経済界の大物の方々の出席又政界の方々も多数参加され、山階鳥類研究所からは理事長の島津久永様も出席しておられました。このような大きな式に参加した事もなく、ましてや、この方々の前で話をするような経験のなかった私にとって足がすくむ思いでした。しかし、私のうしろには41名の広島陵北ロータリークラブの皆様がおられるという力強い思いに大役を果たす事ができました。

次に本年度の様々な行事に御尽力いただいた会員の皆様には大変感謝いたします。8月5日の平和例会には体調の悪い二宮名誉会員に出席いただき、平和についてのお話をいただきましたが、例会で先生のお顔を拝見する最後になったのがとても残念です。8月26日はガバナー公式訪問でした。今年のガバナー、岡田幹矢さんの性格もあります。フォーラムも皆様のおかげでよい意見交換ができて、クラブの運営により参考になったと思います。9月9日の創立19周年記念例会は、900回記念例会と重なり、何かイベントをということで、川西会員の900回連続ホーム例会出席を祝うという事で、バースデーケーキならぬ、900回出席ケーキをクラブ運営委員会で用意していただき、皆で食べたのがとてもなつかしく思い出されます。10月28日の職場訪問例会は、マツダ・ズームズームスタジアムで行なわれ、通常は見学できない場所とか、特殊なスタンドの観戦の方法とかをいろいろ説明していただき、これからカーブの応援をするのにとっても参考になった思いがあります。12月16日のクリスマス夜間例会と3月31日の羽田別荘での花見夜間例会については、親睦家族委員会には大変苦勞をかけました。クリスマス例会が別に良くなかったとは思いませんが、夫人同伴の夜間例会でしたので親睦家族委員会としたり、さすがという事がしたかったからでしょうが、その分、羽田別荘での花見夜間例会、夫人同伴はとても素晴らしい例会になったと思います。次年度は、20周年の記念事業で植樹をした古川の染井吉野の桜の下で花見ができそうなのでとても楽しみにしています。

いよいよ次年度は創立20周年の年にあたります。準備は、記念事業、祝賀イベント、記念品等々、着々と進んでおります。20年目という事で、クラブとしての結束を改めて考える年だと思います。この一年間の皆様の御協力に感謝するとともに、次年度へむけて皆様の新たな活躍をお祈りいたします。ありがとうございました。最後に、先日の二宮義人先生の葬儀に多数の会員の参列をいただき、大変ありがとうございました。初代会長の二宮先生の葬儀に広島陵北ロータリークラブからの参列者の数が数えるほどしかなかったという事になれば、とても寂しい思いをした事でしょう。会長として大変面目をほどこしありがとうございました。

正副会長幹事退任挨拶(2/2)

■ 副会長 南條 泰

副会長の南條です。一年間大変お世話になりました。つづいて創立二十周年についてもよろしくお願ひします。

一年間井林会長の下でいろいろ勉強させていただきありがとうございました。特に会長の時間の使い方と身体の使い方です。忙しい会長職の合間に一週間を上手にやりくりされ国内・海外出張をされる技はすばらしいものだと感心していました。おかげさまで代理点鐘は三度しかありませんでした。ありがとうございました。

一年の最後のお勤めが二宮名誉会員のお別れになろうとは残念でなりません。おやじとは設立時と言うより家が近いので子供の時からのお付き合いでした。いつも「おいボク」と声をかけていただいたのが忘れられません。

ロータリークラブを創る時も毎日のように広陵高校に行き、新会員予定者の名前を書いては消し書いては消しの毎日でした。ある日、突然、「おいボク、クラブを作るのやめようや」と言われました。予定者が八十人ぐらいおられたのですが、おやじがどうしてもお願ひしたい人が三人おられ、それが女性会員でした。そのうちのお二人は辞退され、最後のお一人にあちらこちらからクレームがつき、「新クラブには早すぎるのではないか」で、結局NOとなったのです。当時広島市内では女性会員の在籍は一人もありませんでした。教育者のおやじには我慢ができなかったのでしょうか、これが理由でした。

現在では会員を取り巻く環境もかなり変わりました。私たちのクラブも人物や職業や国籍など、新会員の資格について真剣に考える時期ではないでしょうか。

こころゆたかなロータリアンになるために。

■ 副幹事 佐野 隆志

副幹事の仕事には幹事の補佐の他、主に例会の司会進行・理事会の議事録作成があり、私は司会を担当することになりました。

この1年が早かったかどうかと考えれば、やっと終わったという気持ちです。

また、対外的には各ロータリークラブの正副幹事出席による合同幹事会があり、主に夜間の方を担当しました。

因みに、本年度はホーム例会出席100%となりました。次年度はゆっくりと例会を楽しみたいと思います。

1年間ありがとうございました。

■ 副幹事 武田 龍雄

副幹事を仰せつかっておりました武田です。

私の担当は、理事役員会の議事録作成がメインで、あとは数回、合同幹事会に出席させていただきました。

合同幹事会では、他のロータリークラブの人と知り合う機会を頂けましたし、議事録を作成することで、ロータリーの中身が、少し分りかけたような気がしております。

1年間、本当にありがとうございました。